

令和8年9月1日

2 学期始業式 式辞（自らの行動によって人生を豊かにする時代）

皆さん、おはようございます。長かった夏休み期間も昨日で終わり、今日から2学期となりますが、社会で役立てることのできる「特性」を伸ばすことや、自分自身の力を信じ、「生きる力」を身に付けることができたでしょうか。

先ほどの表彰式では、ものづくり部が鹿児島県高校生ロボット競技大会4連覇を果たし、今年佐賀県で行われる全国大会へ出場することとなりましたが、今年の暑い夏に試行錯誤を繰り返しながら社会で必要となる力、「課題を発見して改善を図りながらの挑戦」でした。是非、全国大会でも活躍を期待しています。

3年生の皆さんも進路決定に向け、応募前職場見学や書類作成、面接への準備にと担任の先生を始め、進路指導部の先生方からアドバイスを頂くなどして頑張ってきたことと思います。今月16日から始まる就職試験・進学試験に向け、残された日々を精一杯悔いの無いように取り組んでください。

その他、MBC放送の朝の番組でも紹介されていましたが、多くの生徒の皆さんも部活動や資格取得に向け頑張ってきたことでしょう。皆さんの努力が結果に繋がることを期待しています。

さて、そんな皆さんの先輩も社会に出て活躍されている方は多数いらっしゃいます。自らが考える社会問題や課題を自らの持つ特性によって解決しようと起業され、会社の社長となってその力を発揮されていらっしゃる先ほどの同窓会の大久保さんもその一人です。

話は少し変わりますが、本校では地元の企業や自治体、学校やコミュニティと協働して産学官連携で「コンソーシアムパーク隼人」を構築し、新しい価値を創造できる人材の育成に力を入れ4年目となります。特に昨年から生成AIの利活用や起業家精神教育、アントレプレナーシップ教育を学ぶ機会を設けて2年目となります。全国には昨年度、今年とこの2年で高校生が会社を設立した事例が、私が知るだけでも6社ほどあります。

これは少子化が進む中で全国的にも発想豊かな高校生が、「自ら課題を発見し解決する力」を伸ばし「社会を改善していく力」を育むことが求められている中であって、まさに先端を進む取組です。

その中でも今年の6月に岐阜県で起業し代表取締役として就任した高校3年生は、「誰かに評価される生き方ではなく、自分らしい生き方をしたい。そして、そんな世界をつくり

たい。」と、既存の枠組みに縛られずイベント・メディアといった事業を通じて人々の人生を豊かにすることを目指しています。

今年は本校でも各科の3年生の皆さんが地域とのコラボを目指すプロジェクトを組んだり、放課後社長の隼工起業Labo「R a I J i n g」を発足し、1期生が商工会の起業セミナー受講やコンテストへの参加活動を始め、課題抽出と改善へのプロセスを学んでいます。

以前は、本校生が夏休みの宿題を文部科学省のデザインパテントコンテストに応募して、特許庁に特許出願をした経緯を新聞に掲載された生徒もいました。

また先日は、私も含めて5名の先生方と簡単にネット上で販売できる店舗作成も研修で学びました。

更にこれからの時代は、お給料を頂き生活で貯蓄や支払いを行うだけでなく、資産運用を自らが学び、その知識によって自らの資産を増やすなど、自らの行動によって人生を豊かにする時代が来ることでしょう。

社会環境は生成A I 等によって加速度的に変化しています。皆さんにとってこれからの社会にどう関わるかは、皆さんの興味関心と取組でいかようにも変えることができる可能性やチャンスがあります。

是非、目標を持って与えられた時間を大切にこの2学期も過ごしてください。

「人の想い」と「時間」と「基礎」を大切にできる隼工生が、益々活躍できる人財にと成長することを期待して、2学期始業式の式辞といたします。